



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社シンクロ・フード 上場取引所 東
コード番号 3963 URL https://www.synchro-food.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役 兼 執行役員社長 (氏名) 藤代 真一
兼 事業部長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員管理部長 (氏名) 森田 勝樹 (TEL) 03-5768-9522
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,741	27.7	471	16.7	470	15.8	321	18.0
2023年3月期第2四半期	1,363	71.7	403	304.2	405	300.1	272	266.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 323百万円(18.4%) 2023年3月期第2四半期 272百万円(266.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	12.06	12.03
2023年3月期第2四半期	10.24	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,601	3,860	83.9
2023年3月期	4,274	3,534	82.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,859百万円 2023年3月期 3,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 配当金の内訳

2024年3月期期末(予想) 普通配当 5円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	19.4	1,000	14.1	1,000	13.9	700	11.4	26.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	26,893,800株	2023年3月期	26,893,800株
2024年3月期2Q	198,712株	2023年3月期	201,807株
2024年3月期2Q	26,693,210株	2023年3月期2Q	26,636,421株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、緩やかな回復基調で推移しました。一方、資源価格の高騰や物価上昇に加え、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。先行きが不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、「多様な飲食体験から生まれるしあわせを、日本中に、そして世界へと広げる。」をビジョンとして、新中期経営計画の着実な実行と、非連続成長に向けた取組みの推進、の2点を経営方針に掲げ、事業を推進してまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,741,042千円(前年同期比27.7%増)、営業利益は471,145千円(同16.7%増)、経常利益は470,069千円(同15.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は321,994千円(同18.0%増)となりました。

サービス別の売上高の内訳は、運営サービス1,432,165千円(同33.7%増)、出退店サービス203,994千円(同2.9%増)、その他サービス104,882千円(同11.8%増)であります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(メディアプラットフォーム事業)

当事業は、「飲食店ドットコム」をはじめとした飲食店向けのサービス及び、「飲食店ドットコム」に対してサービス提供する不動産事業者や食材仕入事業者等の関連事業者向けのサービスによって構成されております。

「飲食店ドットコム」においては、出店開業、改装、業態変更等の動きが堅調に推移したことで、2023年9月末時点における登録ユーザー数が278,348件(前年同期比10.9%増)と順調に増加しております。求人広告においては、飲食業界の人材採用の活発な動きが継続しており、加えて、サイトの継続的改善や直販、代理店の両チャンネルにおける新規顧客の開拓、既存顧客の再利用の促進活動等により、売上高が伸長しました。

また、「飲食店ドットコム」に対してサービス提供する不動産事業者や内装事業者等の関連事業者については、4,920社(同3.7%増)と増加しております(注)。

以上の結果、メディアプラットフォーム事業の売上高は1,657,451千円(同30.0%増)、セグメント利益は482,749千円(同24.9%増)となりました。

(M&A仲介事業)

当事業は、飲食店の事業譲渡や株式譲渡等のM&A仲介及び、飲食店が設備等を残置したまま退去する居抜き譲渡のサポートサービスによって構成されております。

売却相談件数については、M&A仲介はやや落ち着いてきているものの、引き続き居抜き譲渡は高水準で推移しました。また、M&A仲介においては第1四半期連結会計期間において譲渡時期の後ろ倒しが発生した案件について、部分的な成約に留まったことも影響し、売上高の進捗がやや停滞しました。

以上の結果、M&A仲介事業の売上高は83,590千円(同5.3%減)、セグメント損失は12,244千円(前年同期は17,093千円のセグメント利益)となりました。

(注) 2023年9月30日時点において、不動産事業者、内装事業者、食材仕入事業者として登録している事業者数を記載しております。(内装建築.comに登録している内装事業者数は除く)

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,098,207千円となり、前連結会計年度末に比べて17,866千円減少しました。主な減少要因は、内装建築.com事業譲受代金及び未払法人税等の支払いによる現金及び預金の減少(前連結会計年度末比43,803千円減)等であります。固定資産は503,078千円となり、前連結会計年度末に比べて344,264千円増加しました。以上の結果、総資産は4,601,286千円(同326,398千円増)となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は718,266千円となり、前連結会計年度末に比べて743千円増加しました。主な増加要因は、未払金の増加(同69,268千円増)等であり、主な減少要因は、未払消費税等の減少(同69,825千円減)等であり、固定負債は22,651千円となり、前連結会計年度末に比べて107千円増加しました。以上の結果、総負債は740,918千円(同850千円増)となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,860,368千円となり、前連結会計年度末に比べて325,547千円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加(同321,994千円増)によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ43,804千円減の3,839,702千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、241,788千円となりました(前年同期は296,655千円の収入)。主な要因は、税金等調整前四半期純利益470,069千円の計上、法人税等の支払額178,391千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、285,593千円となりました(前年同期は23,425千円の支出)。主な要因は、事業譲受による支出250,064千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得及び支出した資金は、ありません(前年同期も獲得及び支出した資金は、ありません)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2023年5月12日の「2023年3月期決算説明資料」に公表しました業績予想より修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,933,568	3,889,764
売掛金	146,895	161,428
前払費用	38,576	45,732
その他	4,232	9,183
貸倒引当金	△7,197	△7,901
流動資産合計	4,116,074	4,098,207
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	41,244	39,097
工具、器具及び備品（純額）	5,484	4,780
有形固定資産合計	46,729	43,878
無形固定資産		
のれん	—	166,762
顧客関連資産	—	75,880
ソフトウェア	103	—
無形固定資産合計	103	242,642
投資その他の資産		
投資有価証券	13,353	14,958
出資金	300	300
敷金及び保証金	71,326	106,290
繰延税金資産	17,280	91,457
その他	9,720	3,551
投資その他の資産合計	111,980	216,556
固定資産合計	158,813	503,078
資産合計	4,274,888	4,601,286

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,969	27,213
未払金	89,104	158,373
未払費用	38,327	41,110
未払法人税等	192,638	155,180
未払消費税等	86,934	17,109
契約負債	252,370	300,181
預り金	14,151	19,073
その他	24	24
流動負債合計	717,522	718,266
固定負債		
資産除去債務	22,544	22,651
固定負債合計	22,544	22,651
負債合計	740,067	740,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,517	510,517
資本剰余金	498,517	499,131
利益剰余金	2,634,828	2,956,823
自己株式	△109,900	△108,215
株主資本合計	3,533,962	3,858,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	1,253
その他の包括利益累計額合計	—	1,253
新株予約権	858	858
純資産合計	3,534,820	3,860,368
負債純資産合計	4,274,888	4,601,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,363,095	1,741,042
売上原価	163,367	288,830
売上総利益	1,199,727	1,452,211
販売費及び一般管理費	795,854	981,066
営業利益	403,873	471,145
営業外収益		
受取利息	15	19
受取配当金	6	6
為替差益	96	—
助成金収入	1,631	—
施設利用料収入	200	—
営業外収益合計	1,950	25
営業外費用		
和解金	—	900
その他	—	201
営業外費用合計	—	1,101
経常利益	405,823	470,069
特別利益		
新株予約権戻入益	3	—
特別利益合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	405,826	470,069
法人税、住民税及び事業税	126,100	141,785
法人税等調整額	6,790	6,289
法人税等合計	132,891	148,075
四半期純利益	272,935	321,994
親会社株主に帰属する四半期純利益	272,935	321,994

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	272,935	321,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,253
その他の包括利益合計	—	1,253
四半期包括利益	272,935	323,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,935	323,247
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	405,826	470,069
減価償却費	19,140	2,954
のれん償却額	—	14,993
顧客関連資産償却額	—	6,898
株式報酬費用	14,073	9,136
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,526	703
受取利息及び受取配当金	△21	△25
為替差損益 (△は益)	△96	201
助成金収入	△1,631	—
和解金	—	900
売上債権の増減額 (△は増加)	△516	△8,629
棚卸資産の増減額 (△は増加)	993	—
前払費用の増減額 (△は増加)	3,941	△13,992
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,580	△16,756
契約負債の増減額 (△は減少)	15,766	36,286
未払金の増減額 (△は減少)	△4,467	△8,731
未払費用の増減額 (△は減少)	231	2,782
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31,831	△69,825
その他	△3,691	△5,909
小計	422,823	421,054
利息及び配当金の受取額	21	25
助成金の受取額	1,631	—
和解金の支払額	—	△900
法人税等の支払額	△127,821	△178,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	296,655	241,788
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,061	△50,062
定期預金の払戻による収入	50,060	50,061
有形固定資産の取得による支出	△18,905	△564
投資有価証券の取得による支出	△4,247	—
敷金及び保証金の差入による支出	△771	△34,963
敷金及び保証金の返戻による収入	500	—
事業譲受による支出	—	△250,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,425	△285,593
財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	273,230	△43,804
現金及び現金同等物の期首残高	3,037,851	3,883,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,311,082	3,839,702

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラット フォーム 事業	M&A仲介 事業	計		
売上高					
広告及び関連サービス(注4)	1,048,323	—	1,048,323	—	1,048,323
マーケティング(注5)	33,983	—	33,983	—	33,983
成功報酬(注6)	37,162	88,244	125,407	—	125,407
その他(注7)	155,381	—	155,381	—	155,381
顧客との契約から生じる収益	1,274,850	88,244	1,363,095	—	1,363,095
外部顧客への売上高	1,274,850	88,244	1,363,095	—	1,363,095
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,274,850	88,244	1,363,095	—	1,363,095
セグメント利益	386,359	17,093	403,453	420	403,873
その他項目					
減価償却費(注3)	18,827	312	19,140	—	19,140

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店ドットコム」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店ドットコム」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&A仲介事業であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラットフォーム 事業	M&A仲介 事業	計		
売上高					
広告及び関連サービス(注4)	1,270,089	—	1,270,089	—	1,270,089
マーケティング(注5)	32,078	—	32,078	—	32,078
成功報酬(注6)	96,952	73,421	170,373	—	170,373
その他(注7)	258,331	10,169	268,501	—	268,501
顧客との契約から生じる収益	1,657,451	83,590	1,741,042	—	1,741,042
外部顧客への売上高	1,657,451	83,590	1,741,042	—	1,741,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,657,451	83,590	1,741,042	—	1,741,042
セグメント利益又は損失	482,749	△12,244	470,505	640	471,145
その他項目					
減価償却費(注3)	9,822	29	9,852	—	9,852
のれんの償却額(注3)	14,380	612	14,993	—	14,993

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店ドットコム」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店ドットコム」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&A仲介事業であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に「メディアプラットフォーム事業」セグメントにおいて、シェルフィー株式会社より事業譲受を受けたことについて、暫定的な処理をしておりましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。これにより、「メディアプラットフォーム事業」セグメントにおけるのれんの金額が減少しております。

なお、詳細については、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載の通りであります。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2023年4月20日に行われたシェルフイー株式会社からの事業譲受について第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。

この結果、顧客関連資産82,778千円、繰延税金負債25,346千円を新たに識別し、顧客関連資産は6年にわたって均等償却しております。

暫定的に算出されたのれんの金額230,002千円は会計処理の確定により57,431千円減少し、172,570千円となりました。なお、のれんの償却年数に変更はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。